

# 平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人チャレンジサポート・クローバー

## 1. 事業の成果

障害福祉サービス事業の多機能型事業所として、就労継続支援B型、就労移行、生活介護、共同生活援助の4事業を実施しています。就労継続支援B型では、生産活動の機会を提供するとともに利用者個々の障害特性に応じた職業訓練をおこない、就労に向けた知識、能力の向上を図るための支援、働く楽しさや充実感、仲間と協力して目標を達成する喜びなども体験できるように支援をおこないました。結果として、全員の作業能力が向上したので、次年度には、工賃を引き上げる予定です。就労移行では、座学を含めた一般就労に向けての多様な就労訓練を提供しましたが、結局一人も一般就労へ送り出すことができず、次年度6月には利用者がいなくなるので、当分は事業を休止する予定です。生活介護においては、家族のニーズに対して可能な限り答えるよう努力し、また本人との信頼関係づくりを心がけ、利用者一人ひとりが落ち着いて楽しく充実した日中生活を送れるよう支援をおこないました。更に利用者の能力に応じて生産活動を行い、工賃をもらうことで本人の就労意欲も高まり、訓練にも積極的に取り組んでいます。今年の3月に開業した共同生活援助に関しては、まだ利用者も少なく、受け入れ体制も不十分な点が多々ありますので、早急な対応が必要な状況です。

健康管理に関しては、全事業において野菜中心で低カロリーの食事を提供し、体力づくりを兼ねたウォーキングや軽スポーツ等もおこないました。また、他の事業所との交流会等には積極的に参加して、多くの人と交流する機会を大切に社会参加への支援をおこなっています。次年度も、一人ひとりの個性に添った支援をおこなって、充実した日中活動・日常生活が提供できるように職員全員で尽力いたします。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
① 障害者総合 支援法に基 づく障害福 祉サービス 事業	<p>就労継続支援B型</p> <p>&lt;就労支援&gt;企業からの受託作業を通して、利用者の作業訓練と勤労意欲の向上を図った。</p> <p>&lt;生活支援&gt;日常生活上の訓練や人との関わり方等の社会経験を広げるよう努めた。</p> <p>&lt;健康管理&gt;毎朝のバイタルチェックを行い、食事は、野菜中心の低カロリー食を提供した。</p>	平日 9時 ～ 16時	就労支援 センター クローバー	2名	利用者 8名	10,267
	<p>就労移行</p> <p>&lt;就労支援&gt;座学を始めとする就労で必要な知識、技術が身につくように丁寧な支援を行った。</p> <p>&lt;生活支援&gt;日常生活上の訓練や人との関わり方等の社会経験を広げるよう努めた。</p> <p>&lt;健康管理&gt;毎朝のバイタルチェックを行い、食事は、野菜中心の低カロリー食を提供した。</p>	平日 9時 ～ 16時	就労移行 センター クローバー	3名	利用者 3名	8,370
	<p>生活介護</p> <p>&lt;就労支援&gt;単純作業を通して利用者の機能訓練と意欲向上を行った。</p> <p>&lt;生活支援&gt;日常生活上の訓練や人との関わり方等の社会経験を広げるよう努めた。</p> <p>&lt;健康管理&gt;毎朝のバイタルチェックを行い、食事は、野菜中心の低カロリー食を提供した。</p>	平日 9時 ～ 15時	生活介護 センター クローバー	3名	利用者 12名	10,908
	<p>共同生活援助</p> <p>&lt;生活支援&gt;規則正しい日常生活が送れるように訓練を行った。</p> <p>&lt;健康管理&gt;食事は、野菜中心の低カロリー食を提供した。</p>	毎日	就労支援 センター クローバー	2名	利用者 3名	11,728
② 障害の理解 及び啓発に 関する事業	実施なし					